



鮫川堰議員總選舉

定員二四有權者一四三八

石城郡鮫川堰普通水利組合議員の選舉は既報の如く来る十五日滋潤關係各町村毎に行はれるが議員總數二十四名の各町村及び有權者數左記の如く今回の一千四百三十八名は前回の總選舉に比し七十七名を増加した尙ほ各町村に於ける候補者の總數では約三分の一ぐらゐの新顔かと思はれ何れも無用競争をなしたくないと語られてゐる。

- ▲小名濱有權者二九九(定員五) 前回は有權者二七九
- ▲玉川三〇五(定員五) 前回は三〇五
- ▲泉三四七(定員五) 前回は三四七
- ▲渡邊一五五(定員四) 前回は一五五
- ▲植田三〇(定員四) 前回は三〇
- ▲上遠野二二(定員一) 前回は二二以上

國の柱

平出身の二勇士
尾野嘉久治佐長、平市二丁目出身、宇都宮部隊に屬し漢口攻略戦に奮闘中名譽の戦死を遂げた、同君は鶴酒酒店平野野久八(母)母(五)さんの長男で平商業學校第十七回卒業後家業を継ぎ町内の模範青年として評判されてゐた、實家は前記兩親の外三男三郎(三)君四男喜四郎君(三)三女八千代さんがある
草野幸兵衛、平市上平窪

旭神社例祭

平署に祀る

旭神社例祭は平署に祀る。平署では例内に奉祀する旭神社三日の例祭に於て本年は特に戦捷報告並びに同署出征警察官の武運長久祈願を兼ね午前十一時半祭典執行後會館に於て簡素な戦捷祝賀會を開き同席上元老の諸氏から警察及び消防に關し一貫重なる体験を聽くのを催すと

戦地胸を打つものは 皆様の御熱誠に候

磐中出身 鈴木平八郎

愈々御清邁の御事と御欣び申上ます、扱て私儀この度重任を拜し其の途につきました節は万端御配慮を頂きまして厚く御禮申上ります。お陰様にて恙なく任地に到着いたしました、母國遙かに大陸に立つて其の重責を痛感致しますと共に胸を打つものは皆様の熱誠誠なる

たぐく任務に邁進

平市二丁目出身 齋藤英一郎

拜呈。御尊堂皆々務には御健かに御慕しの由大慶至極に存じ候、降りて小生益々元氣任務に邁進仕居り候間他事ながら御休心下され度候、當座未だ天候不順、一時晴るれば炎熱甚だしく夜間に入りても凄き難き程に候、扱て此の度我が部隊は表記の如くに相成り申候

座講識

ターニング・ポイント
は分岐點または回轉期
或は轉向點の謂だ、單
にターニング・ポイント
水泳の語に用ふる程で
ブルの壁について引
返すことだ、前段の分
岐、轉向は其の意から

平署管下の 秋季消防檢閲

平署管下に於ける消防組の秋季檢閲は過般の組頭會に於て左記日割に決定した
▲十一月四日 江名 豊間
▲十一月十一日 内郷 鹿島 湯本
▲十一月十八日 三坂 飯野 好間 深渡
▲十一月二十五日 高久 夏井
▲十一月二十二日 下小川 赤井(聯合で上小川小學校) ▲十七日小名濱 生川 ▲十八日磐崎村(以上平市及び神谷、永戸は追つて決定の筈)

喜田博士講演

東北文化研究所

平市十三日會の例は来る五日午後七時から市内マルトモホールに開催の筈だが今回は警視庁民俗研究所と合同の催しで元京大教授文學博士喜田貞吉氏を聘し東北文化特に郷土研究に就ての講演及び座談會を開き尙ほ磐城地方の古代史研究資料(土器、石器、古墳)等につき來會者の持ち合せを待寄ることになつてゐる

漢口陥落祝賀陸上運動會

石城郡内郷村の警視廳健康保險組合主催漢口陥落祝賀陸上運動會は来る六日午前八時半から同健康グラウンドに於て催される筈であるが第二

小學校教員と保

ボの檢定

本縣小學校教員及び幼稚園保母の檢定試験演習に於けるものは来る十四日から十八日まで平第三小學校に於て行はれる

公會堂の使用

先月二十二日

平市公會堂は外觀内容共に東北に誇る構造美を譽えたるが果たしてどれだけ利用あることか未だ知れなかつたが去月三日の竣功式後同月末まで實に二十二回の使用に上つた

入營兵歡送會

廿一日公會堂

平市に於ける新入營兵の歡送會は来る二十一日午前九時縣社子會館に奉告祭を行ひたる後十時半から公會堂に歡送の宴を催すことになつてゐる、會費は五十錢、出席者は少なくとも八百名に上るであらうと

豚丹毒豫防注射

平市公會堂

石城郡小名濱町では近年豚の飼養者が増加してゐるが同飼養に恐るべき豚丹毒の豫防注射を今日全部に施行した

平婦人會總集會

平市公會堂

平婦人會の第十一回總集會は明日午前十時半から公會堂に於て開催、作山美八氏の講演がある

粗摺支部總會

農機支所の指示

石城郡粗摺業者組合支部の總會は昨報の如く今日午前十時から平市粗摺町扇屋旅館で催されたが殆んど全員の出席で佐藤組合長から十二年決算百五十五圓四十五錢及び協

眞綿廿五貫獻納

石城郡上遠野、入遠野、田人

石城郡上遠野、入遠野、田人三ヶ村内二十三個發賣實行組合では組合員一同から眞綿二十五貫を集め皇軍の防禦用として福島縣隊司令部を経て獻納した

川前村の農産品

石城郡川前村の左記三部落

石城郡川前村の左記三部落で主として粗糲類の農産物品評會を開催する
▲七日大字小井(小井井分敷場) 十四日大字下桶(同地小學校) 十五日大字川前(同地公會堂)

出稼から窃盜

逸々つかまる

南會津郡旭田村の奥田字水角一四四當時付所不定上工佐藤男(三)は昨年十月中旬茨城縣那珂郡大宮町字新町氏名不詳の古物商方屋根替へに出稼きの旅先から同郡吉野村鴻

商店法の説明

(8) 福島縣警察部

依つて當時五十人以上の便用人を使用する大商店に於ては工場法と同様に女子及び十六才未満の少年者に對し一日の就業時間を十一時間以内とし、其の間に三十分乃至一時間の休憩時間を與へること、

三、商店法の内容

依つて當時五十人以上の便用人を使用する大商店に於ては

依つて當時五十人以上の便用人を使用する大商店に於ては工場法と同様に女子及び十六才未満の少年者に對し一日の就業時間を十一時間以内とし、其の間に三十分乃至一時間の休憩時間を與へること、

依つて當時五十人以上の便用人を使用する大商店に於ては工場法と同様に女子及び十六才未満の少年者に對し一日の就業時間を十一時間以内とし、其の間に三十分乃至一時間の休憩時間を與へること、

魁文堂
電話三三三
古梅園の寄道器

高島屋洋服店
電話三三三

雲州神國印ソロバン
優勝印高級ソロバン
優等印高級ソロバン
ウエル 萬年筆
ライトインキ
ムツソリニペン
玉泉堂の寄道筆
古梅園の寄道器

家庭方回

自家製種々

権威者の説を踏食の權威者からジャムに利用出来る果實について加工法並に貯蔵法を説いた所を上げて見やう、ジャムは果物の實或は果肉を煮て砂糖を加へ煮詰めたもので果實本来の香味を失はぬ様に注意して煮詰める必要がある、梅、葡萄、グズベリー等の様な水分の多いものは其まゝ直ちに熱をかけ梅とか林檎とか杏の様なものに最初少し水を加へて加熱する、葡萄、トマトの如く種子が小さくて最初に取除くことの出来ないものは大体煮てから裏漉しにかけて取る、砂糖は大休果物が煮えてから入れる、

▲梅ジャム、煮沸時間五十分間、砂糖の量毎百匁に付七十匁乃至九十匁、

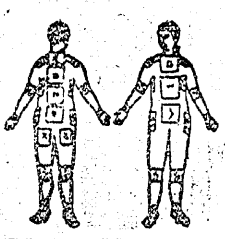
▲グズベリー、ジャム、煮沸時間卅分乃至卅五分、砂糖はグズベリー百匁に對し八十匁乃至百匁、

▲杏のジャム、煮沸卅分乃至四十分、砂糖は杏の種子を除きたる百匁に付七十匁乃至九十匁、

▲梅のジャム、煮沸卅五分乃至四十五分、砂糖は種子を除く百匁に付七十匁乃至九十匁、

▲林檎の同は煮沸三、四十分砂糖種子を除く百匁に付八十匁、

▲葡萄の同、煮沸三、四十分、砂糖は原料百匁に付五十匁から七十匁、



山野邊藥局

平市 五丁目角

山野邊藥局

正確 体温計
寒暖計
計量器指定販賣

平市五丁目角
山野邊藥局

十匁から七十匁、
貯蔵は塩詰が一番で、塩は粗友塩、花房塩、真田塩、志賀式塩等種々あるが最も簡単な方法コップの様なものを一度グラ／＼煮て(殺菌)沸湯から取出しこれに煮立てのジャムを口から五分位の所で流込み其の上で蠟をとかして流込み蓋にして冷却する、すべて殺菌の容器は一旦煮沸して殺菌すること、殺菌しないものは普通の水で洗はないことが大切である(完り)

◆一般印刷物も
◆手交致しませう

新しいわき新聞社
印刷部

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄

平市新川町九一
入院隨意 病室完備

木村病院

電話一六四番

平田町(三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院

電話六六九番
入院應需(自炊の便あり)

根本 婦産科醫院

平市南町
根本 莊次郎
根本 貞雄

電話三四番
(入院隨時)

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄

平市新川町九一
入院隨意 病室完備

木村病院

電話一六四番

平病院 (平市元共濟病院跡) 電話六四一

院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 部長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾要司
外科 部長 高橋俊幸
皮膚泌尿科 部長 鈴木定藏
物理療法科 部長 鈴木定藏

藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に従事す(急患は此の限にすぎず)

皇軍戦勝二冬品會の第一線に立つ

ツルヤ 電話一四〇
漸新型 豐富陳列

子供帽子 中折帽子

藤沼醫院

平市紺屋町 電話五〇七

スヘイン G・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
旨味葡萄酒 1・2U

婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋藥舖 (電3)

和洋銅鐵、金物問屋

益屋商店

九九・九電

便利で 經濟な **日下家政婦會** の
派出婦を御利用下さいませ

身元確かで品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です

平市田町十八(西村屋横町)

◎ **日下家政婦會**
會長 日下すい子
電話七二三番

診療科目

一、齒科一般
保存科、補綴科、齒槽膿腫科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿腫科、

一、口腔外科
一、レントゲン科

平市田町(松月堂向と)

中野齒科醫院

電話五〇九番

院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本齒科醫學士 堀谷伍郎
補綴部主任 佐藤車義